



住むほどに  
好きが深まる  
姫のまち

# 男山 Light Up

男山が輝く夜

男山千姫天満宮・男山八幡宮・水尾神社  
不苦勞の階段 他

2025年9月28日(日)~10月7日(火)

【雨天決行】 警報等が発令されるような場合は中止します。

駐車場はありません。徒歩や公共交通機関のご利用をお願いいたします。



バス停  
(市之橋  
文学館前)

主催／特定非営利活動法人あかりの街ひめじ

後援／姫路市

協力／認定 NPO 法人コムサロン 21

お問い合わせ先 (担当/山口) 090-3267-6396 masaymg@memenet.or.jp

この事業は姫路市令和7年度提案型協働事業の助成を得て実施しています。

〔俗説・伝承〕

平安時代あたりに、現自衛隊駐屯地付近にあった長者屋敷から男女が逃げ、男が逃げてきた山を「男山」、女が逃げてきた山を「姫山」と呼ぶようになったという伝承もあります。

〔播磨風土記〕

姫路が海だった頃の神話で、大汝命の子・火明命が船の荷物を海に投げ込んだ時に、箱が流れ着いた丘を「管丘(箱丘はこおか)」と呼び、それが後に男山という名になったと伝えられています。